

- 問1 江戸時代に行われた朝鮮との外交に関する記述として、最も適切なものはどれですか。なお、この使節団は日本橋を起点とする東海道などの街道を通して江戸へ向かったことが記録されています。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 松前藩が窓口となり、アイヌの代表者が北方交易の儀礼のために定期的に江戸へ派遣された。 | 2. 島津氏が領主を務める薩摩藩が仲介役となり、琉球王国の使節が日本橋を目指して東海道を進んだ。 | 3. 長崎奉行の管理のもと、オランダ商館長が貿易の継続を求めて東海道を通り参府した。 | 4. 宗氏が領主を務める対馬藩が仲介役となり、将軍の代わりなどの祝賀のために朝鮮通信使が来訪した。 |
|---|--|--|---|
- 問2 8世紀の日本において、都の中に幅約70メートルもの広大な南北の道（朱雀大路）を敷き、碁盤の目状に土地区画を整理する「条坊制」が採用された理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 大名が参勤交代で江戸へ向かう際、軍勢が円滑に通行できるように道幅を拡張したため | 2. 唐（中国）の都である長安の仕組みを取り入れ、天皇を中心とする中央集権国家の威信を内外に示すため | 3. 外敵からの侵入を防ぐために、見通しの悪い複雑な道を作って防衛力を高める必要があったため | 4. 各地の武士が鎌倉へ迅速に集結できるよう、軍事的なネットワークを構築することが最優先されたため |
|--|--|--|---|
- 問3 井原西鶴の『日本永代蔵』では、出羽国の酒田が非常に活気のある港町として描かれています。当時の酒田が、経済や流通において果たしていた役割の背景として正しい説明を選んでください。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 参勤交代を行う大名たちが必ず宿泊する宿場町として整備され、陸路と海路の両方で江戸と直結していた。 | 2. 長崎での貿易が制限された際、幕府から唯一中国やオランダとの直接貿易を許可された特別な港であった。 | 3. 幕府が全国の特産物を管理するために設置した「座」の本拠地であり、酒田の商人たちがそれらを独占販売していた。 | 4. 西廻り航路と東廻り航路の結節点であり、日本海側の物資を積んだ北前船が集まる物流の要衝であった。 |
|---|---|--|--|
- 問4 江戸時代、将軍の代わりなどの機会に朝鮮から派遣された外交使節団の名称と、その国交の窓口としての役割を担った藩の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|--------------|--------------|------------|
| 1. 慶賀使と対馬藩 | 2. 朝鮮通信使と薩摩藩 | 3. 朝鮮通信使と対馬藩 | 4. 謝恩使と松前藩 |
|------------|--------------|--------------|------------|
- 問5 江戸時代の外交を記録した史料や行列を描いた絵図には、対馬藩が仲介役となり、瀬戸内海を通して江戸を目指す使節団の様子が残されています。この、日本の将軍の就任祝いなどを目的に派遣された使節団を何といいますか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|----------|--------|
| 1. 遣明使 | 2. 琉球使節 | 3. 朝鮮通信使 | 4. 南蛮人 |
|--------|---------|----------|--------|
- 問6 江戸と京都を結ぶ約530kmの街道である中山道において、江戸時代の交通や通信の様子を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|--|
| 1. 幕府が制度化した参勤交代のために、多くの大名がこの街道を利用した。 | 2. 鎖国体制下であったため、幕府の許可なく街道を利用して手紙を運ぶことは一切禁じられた。 | 3. 中山道は海沿いの道であったため、物資の運搬には主に大型の北前船が使われた。 | 4. 明治時代になってから発明された人力車（車夫）が、主要な手紙の運搬手段であった。 |
|--------------------------------------|---|--|--|
- 問7 18世紀の前半に江戸幕府の第8代将軍に就任し、武士に質素倹約を命じるとともに、新田開発の奨励や上げ米の制などを通じて、行き詰まっていた幕府の財政再建を目指した「享保の改革」を主導した人物は誰か。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 松平定信 | 2. 徳川吉宗 | 3. 水野忠邦 | 4. 徳川家光 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 江戸時代初期、桂離宮に代表される、茶室の意匠を取り入れ、庭園と建物が調和した洗練された建築様式を何というか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|--------|---------|
| 1. 唐様 | 2. 寝殿造 | 3. 書院造 | 4. 数寄屋造 |
|-------|--------|--------|---------|
- 問9 江戸幕府が貿易を管理する仕組みが変化していく過程で、1630年代には将軍の許可だけでなく、さらに厳格な制限が加えられました。朱印状に加えて、長崎奉行が発行する許可証を携行しなければならなくなった貿易船を何と呼びますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| 1. 遣唐使船 | 2. 朱印船 | 3. 奉書船 | 4. 菱垣廻船 |
|---------|--------|--------|---------|
- 問10 16世紀に日本へキリスト教が伝来した経緯と、その初期の動きについて述べた文として正しいものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 徳川家康の招きにより、イタリアの宣教師がローマ教皇の親書を携えて来日した。 | 2. フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来日し、イエズス会を通じて布教が開始された。 | 3. マルティン・ルターが日本を訪れ、天皇にキリスト教の公認を求めた。 | 4. ルイス・フロイスが長崎に来日し、プロテスタントの教えを広めた。 |
|--|---|-------------------------------------|------------------------------------|
- 問11 フランス革命以前のフランス社会において、国家財政を支えるための「税の負担」はどのようになっていましたか。当時の身分制度と関連させて説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---|--|
| 1. 国王が最も重い税を負担し、その資金をもとに平民の生活を保障していた | 2. 聖職者がすべての税を負担する代わりに、政治の全権を握っていた | 3. 聖職者や貴族は免税などの特権を持っていたため、平民だけが重い税を負担していた | 4. 身分に関係なく、すべての国民が所得に応じた一定の税を平等に負担していた |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---|--|
- 問12 江戸時代（近世）の長崎には、特定の国から貿易船が来航していました。当時の長崎に入港する清の船を描いた絵図に見られるように、この時代の日本が公式に貿易を継続していた相手国と、その時代の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|-----------------------|---------|---------------|
| 1. 中世と朱印船貿易の相手国 | 2. 江戸時代（近世）と朱印船貿易の相手国 | 3. 中世と清 | 4. 江戸時代（近世）と清 |
|-----------------|-----------------------|---------|---------------|
- 問13 江戸時代に行われた、大名に江戸と領地を往復させる制度について、第3代将軍・徳川家光がこの制度を強化した主な目的と、当時の女性の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 朝廷との連携を強めるために大名の妻子を京都に集め、公家と大名の婚姻を幕府が主導することで統治を安定させるため。 | 2. 大名が地方で自立した権力を持つことを推奨し、それぞれの領地で妻や子が自由に生活できる権利を認めるため。 | 3. 全国交通網を整備して物資の流通を活発にさせ、大名の経済力を高めることで、幕府の年貢収入を安定させるため。 | 4. 大名の財政を圧迫して軍事力を削ぐとともに、大名の妻や子を江戸に住まわせて人質とすることで、幕府への反乱を防ぐため。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 宗氏が領主を務める対馬藩が仲介役となり、 将軍の代替わりなどの祝賀のために朝鮮通信 使が来訪した。	朝鮮通信使は対馬藩の仲介によって派遣されました。一行は瀬戸内海を通り、大坂（現在の大阪）からは陸路で日本橋を起点とする東海道などを通り、江戸へと向かいました。華やかな行列が街道を通ることは、幕府の権威を広く民衆や諸藩に示す重要な機会でもありました。他の選択肢にある薩摩藩は琉球、松前藩はアイヌとの関係を担っていました。
問2	答え 2 唐（中国）の都である長安の仕組みを取り入れ、 天皇を中心とする中央集権国家の威信を 内外に示すため	奈良時代に建設された平城京は、当時の中央集権的な国家体制（律令国家）を象徴するものでした。当時の先進国であった唐の都である長安をモデルに設計されており、広大な道幅や規則正しい区画は、天皇の権威を象徴するとともに、効率的な行政運営を行うための都市設計として機能しました。他の選択肢にある防御重視の構造は中世の城下町、参勤交代は江戸時代、鎌倉への集結は鎌倉時代の特徴です。
問3	答え 4 西廻り航路と東廻り航路の結節点であり、日 本海側の物資を積んだ北前船が集まる物流の 要衝であった。	江戸時代の酒田は「西の堺、東の酒田」と称されるほど繁栄しました。これは、河村瑞賢によって整備された「西廻り航路」と「東廻り航路」の両方が酒田を経由する仕組みになっていたためです。特に日本海を航行する北前船は、東北の米だけでなく、北海道のニシンや昆布などを運び、大坂や江戸の市場へ供給する重要な役割を担いました。こうした海上交通の発展により、酒田は物流の巨大な拠点となり、経済的な活況を呈しました。
問4	答え 3 朝鮮通信使と対馬藩	江戸幕府は朝鮮との国交を回復し、将軍の就任を祝う際などに「朝鮮通信使」を迎えました。この外交実務を担ったのは、朝鮮半島に最も近い対馬（現在の長崎県）を領地としていた宗氏の対馬藩です。薩摩藩は琉球王国との窓口、松前藩はアイヌとの交易の窓口をそれぞれ担当していました。
問5	答え 3 朝鮮通信使	江戸幕府は鎖国の状態にありましたが、朝鮮とは正式な国交がありました。朝鮮通信使は、対馬から海路で瀬戸内海を渡り、そこから陸路で江戸まで向かいました。その華やかな行列は、通る先々で文化交流のきっかけにもなり、当時の日本に大きな影響を与えました。
問6	答え 1 幕府が制度化した参勤交代のために、多くの 大名がこの街道を利用した。	中山道は五街道の一つで、東海道と同じく江戸と京都を結ぶ重要な幹線道路でした。多くの大名が参勤交代のためにこの街道を往来し、宿場町が発展しました。また、飛脚による通信網も整備され、山岳地帯を通るものの軍事上・交通上の重要なルートとして活用されていました。
問7	答え 2 徳川吉宗	徳川吉宗は、紀伊藩主から第8代将軍となり、幕府の財政を立て直すために享保の改革を実施しました。この改革では、大名から米を献上させる代わりに江戸での滞在期間を短縮する「上げ米の制」や、年貢の徴収を安定させる「定免法」の導入、庶民の意見を聞く「目安箱」の設置など、多角的な政策が行われました。
問8	答え 4 数寄屋造	桃山時代の豪華で壮麗な城郭建築とは対照的に、江戸時代初期には茶の湯の精神を反映した、質素ながらも洗練された美しさを追求する様式が発達しました。桂離宮はその最高傑作とされ、複雑な屋根の重なりや、自然と一体化した空間構成が特徴です。
問9	答え 3 奉書船	幕府はキリスト教の伝播を防ぎ、貿易の統制を強めるため、1633年に朱印状に加えて長崎奉行が発行する「奉書」という副申状を必要とする制度を整えました。これを「奉書船貿易」といい、これ以降、日本人の海外渡航や帰国が段階的に制限され、いわゆる「鎖国」の状態へと近づいていくことになります。
問10	答え 2 フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来日し、 イエズス会を通じて布教が開始された。	1549年、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸したことで、日本に初めてキリスト教が伝わりました。当時、カトリック教会はヨーロッパでの宗教改革に対抗するため、イエズス会などの組織を通じてアジアや日本への布教活動を積極的に進めていました。その過程で、九州のキリシタン大名によって天正遣欧少年使節がローマ教皇のもとへ派遣されるなどの交流も生まれました。
問11	答え 3 聖職者や貴族は免税などの特権を持っていた ため、平民だけが重い税を負担していた	当時のフランスでは、人口のわずかに数パーセントに過ぎない聖職者と貴族が特権階級として君臨し、多大な富を所有しながらも納税の義務を免れていました。これに対し、商工業者や農民などの平民は、政治に参加する権利がほとんど認められないまま、国家の財政難を補うための過酷な税を課せられていました。この経済的な不満が爆発したことが、フランス革命の直接的な要因の一つとなりました。
問12	答え 4 江戸時代（近世）と清	江戸幕府が鎖国を行った後も、長崎ではオランダと清（中国）との交流・交易が継続されていました。近世（江戸時代）において長崎に来航した清の船は、唐人屋敷などを拠点に取引を行っていました。朱印船貿易は江戸時代初期の制度であり、中世の対外関係とも時期が異なるため、これらを混同しないように注意が必要です。
問13	答え 4 大名の財政を圧迫して軍事力を削ぐとともに、 大名の妻や子を江戸に住まわせて人質とす ることで、幕府への反乱を防ぐため。	徳川家光による参勤交代の制度化は、幕藩体制を盤石なものにするための重要な政策でした。大名の妻子を「証人（人質）」として江戸に居住させることは、大名が領地で勝手な行動を起こさないための強力な政治的圧力となりました。